

注意事項

- ・以下掲載しております構成以外はサポートしていません。
- ・増設LANボードについてはサポートしていません。
- ・注釈については、巻末を参照下さい。

○動作確認済み、×動作未対応、△評価予定、▲評価中、－対象外

| 装置 *1 | ハードディスク コントローラ | バックアップ *2 | BIOS/FWの アップデート *3 | 対応Ver. | 機種対応モジュール |
|--|-------------------|--------------|--------------------------|--------|--|
| UP A1020a *5 NE3200-001Y 002Y,003Y, 004Y,005Y | NE3203-151 | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 016b) DPM5.2(DPM51 52 016b) 注意事項 RAIDボードを二重化している場合 |
| A1080a-E *5 NE3100-101Y, 111Y | NE3104-001 | × | × | | |
| | NE3108-103 | × | × | | |
| | NE3108-104 | × | × | | |
| A1080a-E *5 NE3100-101L | NE3104-001L | × | × | | |
| A1080a-D *5 NE3100-002Y, 012Y | NE3104-001 | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 010b) DPM5.2(DPM51 52 010b) *4 |
| | NE3108-103 | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 013b) DPM5.2(DPM51 52 013b) *4 |
| | NE3108-104 | ○ | × | | |
| A1080a-D *5 NE3100-002L | NE3104-001L | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 010b) DPM5.2(DPM51 52 010b) *4 |
| A1080a-S *5 NE3100-001Y, 011Y | NE3104-001 | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 010b) DPM5.2(DPM51 52 010b) *4 |
| | NE3108-103 | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 013b) DPM5.2(DPM51 52 013b) *4 |
| | NE3108-104 | ○ | × | | |
| A1080a-S *5 NE3100-001L | NE3104-001L | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 010b) DPM5.2(DPM51 52 010b) *4 |
| A1040a *5 *6 NE3100-005Y | NE3104-001 | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 010b) DPM5.2(DPM51 52 010b) *4 |
| A1040 *5 *6 | NE3004-001 | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 007b) DPM5.2(DPM51 52 007b) *4 |
| A1160 *5 *6 | NE3004-001 | ○ | × | 5.1以降 | DPM5.1(DPM51 52 007b) DPM5.2(DPM51 52 007b) *4 |

注釈説明

- *1:** Wake On LAN が動作しない場合があります。動作しない場合は、手動で電源を ON してください。
- *2:** バックアップ関連機能として、リストア・ディスク構成チェック・ディスク複製 OS インストールも含まれます。
- *3:** 各装置用の BIOS、ファームウェア等のフロッピーディスクイメージで提供されているアップデートイメージをネットワーク経由で配信し、アップデートを行います。
各装置用に提供されるアップデート媒体をネットワーク経由で配信します。
BIOS/FW のアップデートで配信したフロッピーディスクイメージが正常に動作するかどうかは BIOS/FW のアップデートツールの動作に依存します。
そのため、クライアント上で処理を自動で進めるには、アップデートイメージ内のアップデートツールが以下に対応している必要があります。
- ・アップデートツールがユーザの操作なしで実行可能なこと
 - ・DOS が起動後、アップデートツールが自動実行されること
 - ・アップデートツール実行完了後、自動的にリブートすること
- ただし、アップデートツールのつくりによっては正常に動作できない場合があるため、必ず事前評価を行い、問題がないか確認してください。
- *4:** ご利用バージョンに対応するモジュールをダウンロードし、モジュール同梱の手順書にしたがって適用してください。
DeploymentManager Ver4.3 は“SigmaSystemCenter 1.3”に含まれるバージョンです。
また、DeploymentManager Ver5.2 は“SigmaSystemCenter 2.1”に含まれるバージョンです。
- *5:** DeploymentManager に PXE ブートで自動登録した場合、または、シナリオ実行条件の「実行後に電源を切断する」オプションを有効にしてシナリオを実行した場合に、下記のメッセージを表示して自動電源 OFF できません。
詳細は[こちら](#)を参照ください。
Failed to power down by calling APM BIOS. The system has Halted.
- *6:** モジュラーボックスを複数接続した場合、バックアップ/リストアは OS がインストールされているモジュラーボックスに接続されたハードディスクに対してのみ可能です。